

林 道

F G 21 理事長 菊川熙英

F G 21 の作業内容において林道整備が多くなった。そこで林道についてお話をしたいと思います。

林道の歴史は 1960 年以降の植林作業と日本のトラックの性能が良くなったところからできてきた新語のようです。緑のダムや拡大造林、それに林道の歴史はそれほど古いものではないようです。1970 年に入り大規模林道加えて大型観光バスの走行も可能な山岳ハイウェイ（観光道路）も林道に加わっているそうです。他には特定森林地域開発林道（スーパー林道）・ふるさと林業・併用林業・一般補助林業と名称がたくさんあります。これらの林道は保守管理が市町村に移管されて市町村道になっているものも沢山あります。

われわれが単純に考える林道とは林産物を運ぶために山林中に通した舗装されていない道、と考えていましたが林道が多機能な役割を果たしていることがわかりました。

一昨年より続いて昨年最初におこなった町道須賀尾大柏木線は 2 つの部落を結ぶライフラインの林道です。他にこの林道は東洋大学陸上部の山岳トレーニングラインとして活用しているそうです。年始の箱根駅伝に東洋大学が強いのもなんだか説得力があります。



東吾妻町と高崎市にまたがる林道坂倉線ですがこの林道はオートバイのサーキットの会場になっているらしいです。この会の名誉会長に高崎市長・東吾妻町長がなっているとのこと。

林道北榛名山線は県立あがつま森林公園のそばにあり、この作業中に大きな発見をした。ほとんどの人が知らないケヤキの巨樹古木がその雄姿見せています。自然の神を信じる F G 21 の人達は巨木のケヤキの前で威風凛々としている姿に頭を下げたくなります。山の作業は秘かに誰も知らない宝物を見つける喜びもあります。





林道上野線は街と部落を結ぶ地域住民の生活道であり、街と森林・山村の交流を促す重要な交通網の役目を担っているようです。

この上野線がなければ緊急の状態が発生した折に迂回道を回り大きな時間のロスが発生するのではないかと思います。

このように、林業作業を通し、林道とは何か、林道とは本来の役目と別の重要な役目があると考えられる機会を得ました、その役割は多機能にわたり重要な使命を帯びています。